仙沼桑茶」で再起

ロッケ店経営・佐藤さん

元産葉商品化「本業も頑張る」

波で気仙
た」と、生業の再起を懸
営者
ける。
桑の
桑茶を商品化したのは
を商
佐藤則文さん(62)。経営
めて
するコロッケ店では、
も務
気仙沼特産のフカヒレ
に当
を使ったコロッケやハ
「仕
ンバーグなどのヒット商
だと
品を次々売り出してき
のビ
た。

桑茶の販売を始めた佐藤さん

ジネスチャンスをもらっ

震災後、以前から取引のあった「いわいの里」(一関市)の助言を受け、高機能性が注目されている地元産桑茶の生産に挑んだ。

桑の葉は、養蚕の衰退とともに生産、需要が減っているものの、佐藤さんは気仙沼市鹿折地区の契約農場で生葉30トンを確保。石巻市の工場に加工を委託した。

製品は、煎茶(90g)とパウダー化した抹茶(1袋60g)の2種類で、ともに1袋1000円。盛岡市の百貨店で開いた試飲・販売会では、まろやかな味が好評だったという。

佐藤さんは「桑茶で被災地の人たちの健康を支えていきたい。仮設住宅の運営も軌道に乗ってきたので、本業の方もぜひ成功させたい」と意気込む。

自前の店舗はないが、地域商品製造・販売の「いわて大東屋」(一関市)を通じて販売ルートを広げ、ネット販売の展開も目指す。

連絡先は佐藤さん0900(6225)7543。

仮設風呂「生きる力」に

大槌の避難所 活動終了 住民が感謝

岩手県遠野農林振興センターの発案で、大槌町の避難所に設置されていたまき風呂が5日、約4カ月間の役目を終えた。利用してきた住民はセンターの職員を招き、吉里吉里地区体育館で「感謝の会」を開いた。

会には約30人が出席。被災者代表の東谷寛一さん(67)が「風呂で心が癒やされ、生きる力になった」と礼を述べ、吉里吉里地区が取り上げられた新聞記事のファイルを記念品として贈った。

センターの東洋明所長は「企業などの協力もあり、ゼロ予算で人を救うという貴重な経験ができた」と語った。

まき風呂は、間伐材の利用促進策として、まきボイラーの普及に取り組んできたセンターの深沢光林務課長が提案した。

津波被害を受けた家屋の廃材を燃料とし、東京都と新潟県のメーカーが提供したまきボイラーで湯を沸かした。浴槽は、被災した漁業用いけすの内部にブルーシートを敷いて作った。風呂は4月1日から約1カ月間、吉里吉里小に設置され、その後、地区体育館に移された。利用者は2カ所で計延べ5000人以上に上った。

感謝の会で「ありがとう」と被災者から声を掛けられる深沢課長(中央)＝5日、岩手県大槌町

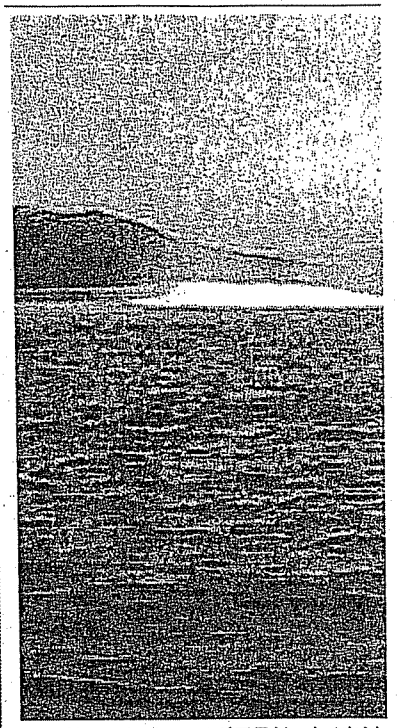
「沖出し」の漁師撮影

「海面が山のように盛り上がり、唐桑半島の山が低く見えた。一瞬で体が固まった」

漁師佐々木夫一さん(61)は3月11日午後3時半ごろ、前方に出現した巨大な津波にがくぜんとした。御崎岬沖の水深が「沖出し」を試みたと、考え、反射的に携帯電話のカメラを構え、遠ざかる津波の写真を4枚撮った。

「安全海域」に達する前に津波に遭遇した佐々木さんは、「あと少し出港に手間取ったら危なかった。今も思い出すと、身震いがする」と言う。

漁師三浦理市さん(62)も同じ津波を撮影していた。午後3時ごろに小鯖漁港を出て、既に御崎岬沖にいた。


佐々木さんが撮影した津波
午後3時30分ごろ、唐桑半

1の放射能汚染

消費者らと議論

県庁で山形知事

福島第1原発事故による食品の放射能汚染問題を話し合う吉村美栄子山形県知事と県民の意見交換会が5日、県庁で開かれた。

各種団体を招いて行う「知事のほのぼのトーク」の一環で、食肉業者や消費者団体の代表、大学教授ら8人が出席した。

県による県産肉牛の全頭検査について、松岡由美子県消費生活団体連絡協議会長は「結果を分かりやすい形で表示してほしい」と要望。吉田昌弘県食肉事業協同組合連合会長は「放射性物質『不検出』の肉が欲しいとの問い合わせが多い」と話した。

放射線に関する数字や

吉村知事(中央)と食肉業者、消費者団体代表らによる意見交換会

う意見は食肉業者、消費者双方から出された。
本建二山形大医学部教授(放射線腫瘍学)は「いろんな数字がどの程度のリスクを意味するのか分かるような説明の仕方を考えるべきだ」と述べた。
吉村知事は「『安心ろ』と言われただけで安心できるはずはない。学校教育の段階から正しい知識を普及させることが大切だ」と強調した。

叙位叙勲(5日)

◆岩手
▽正六位　志田隆祐氏(元大船渡市議)＝大船渡市末町中森(7月10日死去)▽従五位　高橋昭公氏(元日単光章　高橋昭公氏(元内村議)＝西和賀町沢内川38地割(7月7日死去)

◆宮城
▽正六位　伊藤壮氏(元川市古川第一小校長)＝加町島屋ケ崎倉沢道下(7月日死去)▽正四位　荒井武(東北大名誉教授)＝仙台青葉区東勝山(7月11日)

◆秋田
▽従三位・鈴木一夫氏(秋田高専校長、宇都宮大名教授)＝千葉市中央区青葉(7月11日死去)▽正四位椎川誠氏(秋田大名誉教授)＝秋田市飯島新町(7月13死去)

◆山形
▽正六位・黒坂光夫氏(鮭川村議)＝鮭川村石名坂(月7日死去)